

JTが中津川で 森林づくり活動

日本たばこ産業(東京都港区、JT)は4日、中津川市蛭川にある「JTの森 中津川」で森林保全活動に取り組み、社員とその家族らが地域住民とともに心地よい汗を流した。

全国9カ所で森林保全活動を展開。県内では県が推進する企業との協働による森林づくり活動で、2008年に県と市と連携協定を結び、毎年春と秋に活動をしてきた。今回は新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの活動となった。

この日は岐阜支社(岐阜市)など東海4県の事業所から参加があり、住民を含め約130人が活動した。下草刈りの作業ではこれまでに植樹した苗木の成長を実感した。午後には親子が

ホオノキの笛づくりに挑戦したほか、男性社員らは地元シンボル「紅岩」周辺の遊歩道整備や雑草の除去をした。

地元は野菜や地酒、和菓子などを販売し、久しぶりの交流を楽しんだ。景山徹也岐阜支社長は「地域の皆さんとのつながりを大切に、今後も活動を続けていきたい」と話した。

(青山和史)



雑草を片付ける参加者＝中津川市蛭川